

平成二十二年三月二十五日提出
質問第三〇八号

我が国の風力発電施設からの健康への影響に関する質問主意書

提出者 木村太郎

我が国の風力発電施設からの健康への影響に関する質問主意書

去る三月八日、私は我が国のエネルギー政策における今後の風力発電の方向性について、質問主意書を提出した。これに対し鳩山内閣からの答弁書では、今後も風力発電を振興していく旨の回答が寄せられた。このような中で、昨今、風力発電施設から発生する低周波音が、「人の健康に悪影響をあたえているのではないか」との苦情が、自治体等に寄せられており、このため、環境省は全国調査を行う方針と聞く。従って、次の事項について質問する。

- 一 国内の風力発電施設は現在いくつ稼動しているのか。また、今後の見通しはどのようなになっているのか。
- 二 一に関連し、国内の風力発電施設の設置者そして管理者は、どのような内訳になっているのか。
- 三 一・二に関連し、国内の風力発電施設が設置されている自治体は、いくつあるのか。
- 四 これまで風力発電施設に関する苦情はどのくらい寄せられており、その苦情内容はどのようなになっているのか。

五 環境省は、風力発電施設による人の健康への影響調査を進める方針と聞くが、いつからいつまでの間に

行い、具体的にどのような調査を行うのか。

六 五に関連し、調査の段階で、中間報告等を考えているのか。

七 五に関連し、人への健康調査のみならず、風力発電施設が設置されている周辺の動植物への影響をはじめとする生態系調査も行う考えがあるのか。

八 風力発電施設での苦情等を受け付ける窓口を、それぞれの自治体に任せるのではなく、環境省がリーダーシップを発揮し、環境省で窓口を一本化した「風力発電二一〇番（仮称）」なるものを開設し、調査に役立てるべきではないか。

右質問する。